



学校だより



小川小学校 ○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子

令和2年10月16日 No.24

《「使っても減らないもの」それはやさしい心》

10月8日(月)に放送によるお話朝会で児童の皆さんに話した内容を掲載させていただきます。

さて、みなさんに質問します。「使えば減ってしまうものは」と聞かれば、いろいろなものが頭に浮かびますね。鉛筆、消しゴム、絵の具、セロテープ、お金など、ほとんどのものが、使えば減ります。

では、「使っても減らないものは」と聞かれたら、どんなものを頭に浮かべますか。校長先生が考えた答えは、「やさしい心」です。やさしい心は、使っても、使っても減りません。減らないどころか、心が豊かになり、友達が増えていきます。ところが「いじわるな心」はどうでしょう。使っても減りませんが、心が汚れ、友達も減っていきます。こわいですね。

ところで、「やさしい心」は、目に見るでしょうか。見えませんよね。どうしたら、やさしい心を相手に届けることができるのでしょうか。いろいろな届け方があります。一つは、「ことば」です。友達のことを考えて、「ふわふわ言葉」を使うことです。「ありがとう」、「がんばろうね」、「応援しているよ」、「どんまい」、「さすが」などことばを使って、やさしい心を届けるのです。

逆な言葉もありますね。「むかつく」、「どっかいけ」、「キモイ」、「ウザイ」などの「ちくちく言葉」を使うことでいじわるな心を届けることになります。そして、「ちくちく言葉」は、友達をいやな気持ちにさせるだけでなく、使った人の心も汚れていきます。

6月に学校が長い休みから登校できるようになりました。小川小学校のある児童がこんなことを言っていました。「友だちがいたからできた。」「友だちがいたから頑張ることができた。」という言葉です。「友達と学ぶ」ことの大切さは、小川小学校の皆さんは学校が長い休みの時に気付いたと思います。毎日、自分と接する友達や周りの人に「ふわふわことば」を伝え続けていたら、きっと、友達や周りの人から信頼され幸せな気持ちになると思います。そして、毎日、自分自身にも「ふわふわことば」を伝えてあげたら、とても心豊かな気持ちでいられると思います。

《引き続きマスクの着用をお願いします》

夏季の登下校時などに気温・湿度が高い中でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなることもあり、マスクを外してよいことになっておりました。しかしながら、最近はずっかり秋らしい気候となりました。

そこで、改めて登下校中のマスクの着用をお願いします。また、地域の方からこのような要望がありました。「放課後に児童の遊んでいる姿を見かけるとマスクをしないで顔を近づけて遊んでいる」「顔を近づける場合はマスクを使用してほしい」と言ったご意見です。学校でも改めて指導をしますが、ご家庭でも顔を近づけて話す場合は、マスクをするよう声かけをお願いいたします。

《3年生が社会科見学に行ってきました》

10月14日（水）に3年生の社会科見学が実施することができました。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら学習することができました。バスに乗る前に学年主任から2つの「あ」（あんぜん・あいさつ）を大切にしましょう、と話がありました。社会科見学から帰ってきて、先生方に話を聞くと「3年生全員がとても素晴らしい態度で学習していました」と報告を受けました。



【昇降口で出発の集い】



【明治坂戸工場で係りの方からお話を聞きました】



【昼食は旧下里分校で食べました】



【食後に旧下里分校の遊具で遊ぶ3年生】



【金子さんからのお話】



【てんぷら油をトラクターに給油】



【牛にえさをあげました】



【てんぷら油の発電機についてメモをしている姿】



【到着の集いもよくできました】

《2020 小川小学校スポーツフェスティバル 応援団員がんばっています》

昼休みを使って応援団員が各クラスに出向き、応援の流れを説明しています。うまくいかないことがあっても一つ一つがよい経験です。「がんばれ応援団の皆さん！」



スクールカウンセラーの前田さんが来校します

・日時 10月21日（水）
9：00～
11：30
ご相談のある方は担任まで
連絡をお願いします。